

—店頭募金寄付実施のご報告—

サークルK・サンクス店舗の店頭募金 2016年度下期分を3団体に寄付しました。



■ 寄付実績

2016年9月～2017年2月の期間

19,576,238円

サークルK・サンクス店舗（2017年2月末5,348店舗）では、2016年9月～2017年2月の期間店頭募金を実施し、総額1,957万6,238円となりました。

この期間にお客さまから寄せられた募金は、「認定NPO法人全国盲導犬施設連合会」「特定非営利活動法人レスキューストックヤード」「あしなが育英会」の3団体に等分して寄付し、それぞれ盲導犬の育成や普及活動、東日本大震災で被災した東北の子ども達への支援に役立てられます。

また、2017年3月からサークルK・サンクス店舗は「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を実施しています。

各団体の活動内容

■ 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会

全国盲導犬施設連合会には、国家公安委員会から指定を受けて活動している8つの盲導犬育成施設が加盟しています。各施設が綿密な連携を図り、盲導犬の育成・普及事業の発展を図ることで視覚障害者の福祉の向上に寄与しています。

サークルKでは、盲導犬普及に加え、盲導犬を含む補助犬受け入れなど店舗でのホスピタリティ向上を目的として、1992年度より「全国盲導犬普及キャンペーン」への店頭募金による寄付を開始しました。

2008年度からはサンクス店舗も含めて継続した募金寄付を行い、これまでの募金累計の総額は4億円を超えるものとなりました。

お預かりした店頭募金は、盲導犬の育成・普及に活用され、一人でも多くの視覚障害者の自立、社会参加の機会増大につながる活動へと役立てられています。



● 支援について

日本盲導犬協会の寄付を希望される方は協会ホームページにて寄付方法をご確認ください。

■ 日本盲導犬協会HP

<https://www.moudouken.net/>

■特定非営利活動法人レスキューストックヤード



特定非営利活動法人

レスキューストックヤード



レスキューストックヤードは1995年阪神・淡路大震災を契機に設立し、愛知県名古屋市に事務局を置いて活動する災害救援NPOです。

東日本大震災においては、震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点にして、外部からのボランティアや行政、企業等と地元とを結ぶパイプ役にもなって、現在も活動を継続しています。

町民のみなさんの憩いの場となる「きずなハウス」の設立や、こどもたちの勉強するスペースが欲しいという声から生まれた移動学び舎バス「きずな号」の制作など、七ヶ浜町の皆さんに寄り添った支援を続けています。

サークルK・サンクスでは2014年度より店頭募金による寄付を開始し、2014年度にお預かりした店頭募金では、仮設住宅暮らしで居場所の無い子ども達に、マイクロバスを改造した学びの場「きずな号」を提供しました。また、それ以降にお預かりした店頭募金は、2017年7月に七ヶ浜町にて完成を予定している「みんなの家」の建設・運営に生かされます。

● 支援について

レスキューストックヤードへの寄付を希望される方は事務局ホームページにて寄付方法をご確認ください。

■レスキューストックヤードHP

<http://rsy-nagoya.com/>

■あしなが育英会

あしなが育英会は病気や災害、自死（自殺）などで親を亡くしたこども達や、親が重度後遺障害で働けない家庭のこども達を支えるNPOです。

サークルK・サンクスでは2014年度より店頭募金による寄付を開始しており、お預かりした店頭募金は、東日本大地震・津波で親を失ったこどもたちのケアを本格的に取り組むための施設「東北レインボーハウス」（仙台市、石巻市、陸前高田市）の運営支援に役立てられています。レインボーハウスでは、災害遺児たちの出会いと交流の場として、日帰りのプログラムや宿泊プログラム、季節のプログラム等を毎月実施しています。

ASHINAGA

あしなが育英会



● 支援について

ファミリーマート店内設置のFamiポートより、親を亡くした子供たちへの支援を実施しています。

■ファミポート募金「あしなが育英会」

<http://www.family.co.jp/services/application/donation.html>

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。